



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

2017年度 土木学会全国大会における 国際関連行事の概要紹介

本会の全国大会では、国際センターが企画し、いくつかの国際関連行事を実施している。本年度は九州大学伊都キャンパスにて9月11日、12日に実施した。

恒例の国際ラウンドテーブルミーティングは20年近くの歴史があるが、2006年からは会長の意向に沿ったテーマを設定し、話題提供者として海外の協定学協会や海外分会に参加いただいている。

本年度のテーマは、大会テーマ「土木の将来と国際化」に通底する、大石久和会長提案の「土木へのICT、IoT技術の導入：各国の取組み事例と課題、将来へのメッセージ」であった。海外からの6組織を含む約60名が参加し、意見交換が行われた。

19回目を迎えた国際サマースイムシンポジウムは、例年50～60名の発表件数で推移してきたが、本年は72件と過去最多となった。引き続き実施した若手技術者ワークショップには、事前申込み17名、当日参加17名、合計34名が「革新的新工法ワークショップ—開削トンネル工法を例に」をテーマに建設技術のイノベーションについて学んだ。指導いただいた小松



テクニカルツアー参加者（熊本城にて）

崎俊作氏（東京大学）を含む8名のファシリテーター各位のおかげで有意義なワークショップになった。

初日の夜の恒例のネットワーキングレセプション

ンでは、海外ゲスト、ワークショップの参加者をはじめとする留学生、学術交流基金の助成により来日したStudy Tour Grant参加者をゲストに、ホスト側として大石会長、上田多門副会長、須野原豊国際部門主査理事ほかの各位が参加し、和やかな雰囲気の中歓談を楽しみ、親睦を深めた。

テクニカルツアーでは、貸し切りバスで、2016年熊本地震による甚大な被害を受けた熊本城と阿蘇大橋地区を訪れ、復旧・復興工事を視察した。

多大なご協力をいただいた関係者各位、そして今回のツアーの企画段階から実施に至るまでご支援いただいた九州地方整備局の皆様には深く感謝を申し上げます。

（土木学会誌2018年1月号付録の全国大会報告記事もご覧ください。）

ACECC賞募集期限迫る（締切日：12月27日）

2019年4月に東京にて、土木学会がホスト学会となり、アジア土木学協会連合協議会（ACECC）主催の「第8回アジア土木技術国際会議」（8th CECAR）が開催される。ACECCでは、当会議において、土木技術の進歩とアジアの発展に顕著な貢献のあったプロジェクト、国際的な土木技術の進歩またはアジアの社会資本の発展に顕著な貢献のあった個人を対象に表彰を行っている。日本から推薦を行うにあたり、対象となるプロジェクトおよび個人の募集を行っているため、申請書*をダウンロードして、ご応募・ご推薦いただきたい。

* <http://committees.jsce.or.jp/acecc/node/34>

Event Calendar

国際センターが企画するイベント（行事）については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

土木学会国際センター

検索

News Pick Up ! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ（日本語版・英語版）からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。

※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

■ 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>

■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>

■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>

■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>